

# ワンポイント講座21

「折り紙」の効用 脳を活性化させましょう。

作業療法士 黒田 勇人

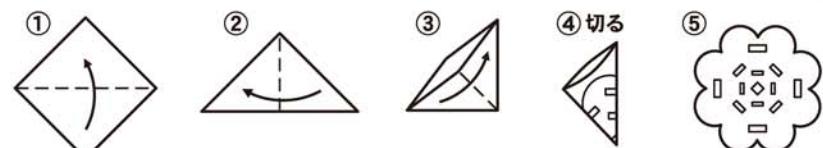
子どもから高齢の方まで、手軽に出来て楽しめる物に折り紙があります。運動ホムンクルスという脳の地図によると、動作を行う時、反応する部位が決まっています。手指は、身体全体の中ではわずかの大きさですが、脳の中で反応する範囲は意外と広いものがあります。

折り紙の効果は脳の働きの促進だけではなく、手指の皮膚感覚、立体感覚、または意欲向上も期待できます。日本人は手先が器用です。食事では箸を使用し、そろばん等の普及が一役買っていることも事実です。

さあ、皆さんも今日から「折り紙」を始めてみてはいかがでしょうか。

## 折り紙の紋切り遊び

子どもの頃から慣れ親しんできた折り紙やいろいろを使って、大人っぽい作品づくりを楽しみましょう。



## 委員会・研修REPORT

### 研修委員会

職種別専門研修(介護・看護・ケアマネなど)、自己研鑽・接遇のための様々な研修、人権同和研修等の情報収集及び研修会への参加、並びに研修会立案実施とその苑内周知などを行っています。



### 給食委員会

利用者の皆さんにより良い食事を提供する為に、各部署から意見を出し合い、献立の内容・提供の仕方などの検討を行っています。



### 感染症予防対策委員会

ウィルスや菌による苑内感染予防のため、職員が正しい知識を身につけ、適切な対応するために月に1回開催しています。また施設内で衛生的な環境を整えるために、委員会で検討して改善策を講じています。



### 褥瘡予防対策委員会

利用者の皆さんの皮膚の圧迫を取り除き、体位変更や、皮膚の状態観察を行い、褥瘡を作らないために、どのようなケアをするのか、また処置の仕方などを各部署から意見を出し合い予防対策の検討会議を行っています。



### 事故防止対策委員会

利用者の皆さんの安全を最大の着眼としたサービスの質の向上を目指す活動をしており、様々な事故に対する対応や対策について話し合っています。



### 身体拘束廃止委員会

緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束・その他の方法により利用者の皆さんの行動を制限しないこと。また、人権を尊重するとともに日常生活のケアの充実を図り「拘束をしない介護」を目指すことを話し合っています。



### グループホームの「合同研修会」を実施しました。

10月18日(月)、「グループホームこすもす」と「グループホームこすもすⅡ」の職員が勤務後に2時間集まり、「介護」と「人権」についての合同研修を行いました。声掛け指示・干渉ではなく、これから行うことをお互いに認識する大切さを学び、入居者にとっての安楽な動作を、常に心がけることも大切だと再認識しました。パワハラ・セクハラが今なお存在するのに呆れ、お互いの人権意識の高さにニッコリする場面もありました。



## コスモス

■広報誌「コスモス」  
■vol.27 2010年12月1日発行  
■企画・編集 オフィス ケイ

発行●医療法人八十八会 ツジ胃腸科医院

介護老人保健施設 明星苑コスモス

〒839-0863 久留米市国分町991-1 TEL0942-21-0775

入居者募集中!  
ケアハウスコスモス21  
空き室(全室個室)が1部屋あります。  
(11月20日現在)  
見学も随時行っております。  
お気軽にお問い合わせください。  
(問)0942-21-2577

# コスモス

介護老人保健施設 明星苑  
コスモス  
2010 12/1 vol.27

医療法人八十八会ツジ胃腸科から、  
「こんにちは!」

夏祭りに、ようこそ。



獅子舞いさん、楽しかよ。

8月21日(土)、明星苑コスモス夏祭りを開催しました。

利用者の皆さんを始めご家族の方々、そして地域の方々もご来場いただき、約200名の皆さんで賑わいました。

職員の手づくりで始めたこの祭りは回を重ね、現在、多くの地域の皆さんに支えられています。



利用者の皆さんと職員による演芸です。  
2頁で詳しく紹介しています。

居心地良く、楽しくご利用いただるために、職員一同努力を重ねてまいります。

事務長 草場 勝昭

の一端をご紹介いたします。

当苑の特徴は、医療・介護・福祉の3本の柱を中心にご利用の皆様にご満足いただくシステムであります。そのため、当苑の色々な面での充実はもちろん「ツジ胃腸内科医院」においても最新の医療機材の導入などを怠りなく行っております。又、「ケアハウスコスモス21」はお陰様をもちまして3年目を迎えることが出来、ご利用の皆様からご好評をいただいております。

職員一同、ご利用の皆様の介護・リハビリに全力を注ぎ、今後も頑張って参ります。どうぞ今後の当苑の発展にご期待下さい。

# CLOSE UP

明星苑コスモス夏祭り、歌あり、踊りあり、屋台あり。  
利用者の皆さんとご家族、  
地域の皆さんに喜んでいただいた1日でした。

8月21日(土)、午後6時20分、明星苑コスモス内に国分日吉神社山王太鼓の音が鳴り響きました。次々とステージに登場するのは、利用者の皆さんと職員による演芸です。司会を務めた介護職の中島正美さんは、「ゲストの皆さんのが歌と踊りも圧巻。盛り上げていただきました」と話します。正福寺幼稚園の皆さんには「よさこいソーラン」や「ふるさと」、東国分アロハ会の皆さんにはフラダンスを披露しました。「嬉しかったのは、ご近所の方々も子どもさんを連れて大勢来ていただいたこと。これからも、地域の皆さんにも喜んでいただける祭りとして楽しい企画を考えたいと思います」

中島さんは漆職人から転職して約2年。もともと子どもや高齢者とかかわるのが好きだったとのこと。「事故防止に努め、利用者の皆さんのが当苑に入って良かった、楽しいと思っていただけるよう心を込めてお世話をしたいと思います」



会場の皆さんも一緒に、  
「よさこいソーラン」。



明星苑コスモス2階・3階の療養部は、「これから音頭、グループホームこすもすは、「まつり」、グループホームこすもすIIは「黒田節・河内音頭」を披露しました。



正福寺幼稚園

中島 正美さん

# PHOTO SKETCH

当医療法人は、8つの事業所がさまざまなサービスをご提供しています。  
夏から秋にかけての主な話題をご紹介します。

## ツジ胃腸内科医院

最新のCT装置を導入しました。  
より安全で精密な検査が可能です。

ツジ胃腸内科医院では7月に、シングルスライスCT装置に替え、最新の16列マルチスライスCT装置を導入しました。

16列マルチスライスCTとは、一回転の撮影で16画像を得る事ができる最新のCT装置です。従来のCTと比べると、より多くの情報を得る事ができる為、今まで発見できなかった微小な病変の診断も可能になり、さらに今まで15~20分の時間を必要としていたCT検査が5~10分程度で済む為、より安全で精密な検査を行える様になりました。また、今回3D画像の作成も簡単に行える様になり、複雑な病変形態や骨折等が容易に把握可能になりました。

今回の16列マルチスライスCT装置の導入により、患者様の負担や不安を和らげ、撮影スピードの高速化や高画質の実現によりCT活用の幅が広がり、通常の検査や検診後の精密検査の場面において「質の高い医療の提供」に役立つと期待しています。



## 明星苑コスモス療養部 2階

2階は45名の皆さんが療養されています。看護職6名と介護職14名が、日勤6~7名、夜勤3名で担当しています。

写真はおやつの時間の談話室。皆さん、お元気ですよ。



## 明星苑コスモス療養部 3階

10月13日、筑後川辺りのコスモス見学に行きました。天気も上々でコスモスもとてもきれいでした。利用者の皆さんのが笑顔がとても素敵で職員も満足でした。



## 明星苑コスモス 通所リハビリテーション



「父の日・母の日」の行事で、職員手作りの「くす玉」を割って皆さんに喜んでいただきました。

## グループホームこすもす



◀10月 畑の芋掘り  
階段を一步一步降りて、真剣に訓練中です。大丈夫ですよ。しっかり支えますからね。



◀10月 コスモス見学  
近所のコスモス畑まで出かけ、気分も晴れ晴れです。

## グループホームこすもすII



◀7月 流しうどん  
今年もまたご近所の方のご協力で、5~6mの青竹でうどん流しを行いました。



◀9月 二胡の演奏

入居者のご家族の方が、珍しい二胡の演奏を披露。初めての音色に、皆さん心地よく聞き入っておられました。



◀10月 運動会

1ヵ月前から楽しみにされていた入居者もおられ、日頃見られない表情も。大いに盛り上がりいました。

# SPECIAL TALK

## 百歳万歳!!

亡き父をつききりで看病した母、その姿に多くを学んでいます。



古賀 春子さん  
明治43年1月生まれ  
明星苑コスモス入所

写真を撮る際、春子さんは「ありがとう」と一言。

療養室に伺うと、ご長男の古賀友英さんが春子さんに寄り添っていました。「軍人の父が戦地に赴いた時、母は子どもを抱えて家を守りました。内向的ですが、気丈な面もあります」

後に、夫が自転車の事故で植物状態に。亡くなる2年半の間、春子さんはつききりで看病したことです。「趣味は?と聞いたら、母は『草取り、たい』と言っていました。家の廻りに草が生えるとみっともない、が口癖でよく草取りをしていました。働き者の母に多くを学んでいます」

### 春子さんの「健康の秘訣」

「母は高血圧症でしたが、父の看病で味付けの薄い病院食を食べ続けたことで、その後健康になりました。父が母を健康にしたように思います」

息子さんから届いた励ましの言葉、願い通り、百歳になりました。



矢羽田 徳美さん  
明治43年11月生まれ  
グループホームこすもすII 入居

国・県・市から百歳の長寿のお祝いをいただきました。

以前、ホームで敬老会の行事が開かれる時、離れて暮らす息子さんから徳美さんにFAXが届きました。

「徳美しゃん!! 目指せ、百歳。いつまでも元気で長生きしてください。息子 忠徳より」

百歳を迎えた徳美さんは、明星苑コスモスに入所している奥さんに会う時、着替えてループタイをするお洒落な方。「奥さんが喜ぶのよね?」の問い合わせ、「もうよう分からんごたるけど」と照れながら徳美さん。いつでも家族と心がつながっています。

### 徳美さんの「健康の秘訣」

「約20年間、徳美さんは国分町の日吉神社の掃除を続け、福岡県神社総代会から表彰されました。信心深く、人の為に身体を動かしてきたことが秘訣でしょう。(職員)」